



平成21年 3月15日

2面	平成20年度公民館総括
3面	平成20年度地区協議会総括
4面	松川大学・高齢者講座
5面	みんなで仲良く・上新井家庭 教育講座・町の埋蔵文化財 スポーツ
6面	なかまたち・すぽっと・ こどもの詩・俳句・短歌
7面	視点・声・べんべん草
8面	

まつかわ百景

②9

「梅の花」

春の光を浴びて満開の梅の花。
土蔵の壁が似合います。(古町)



めぶきの会、何と不思議な
会でしょう。高い目標をかか
げるでもなく、文化的事業を
行う訳でもなく、ただ何とな
く、平凡な集まりの様にみえ
ていて、実は大変な意味を持っ
ていると思います。

もし、長峰にめぶ
き会が無かったらど
うでしょう。自治会
の他に人の集まる団
体がありません。今
日は2時から集まり
ましょうと通知があ
れば30分も前から出
席して待っている人
がいます。不思議な
魅力を持った会で、
年寄りから割りあい
若い人(60歳くらい)
まで、ただ何となく
集まってきました。代
表者も責任者もなく、
当番がいるだけです。

主張

私は、このとらえど
ころが無いようで、実は地域
の人たちが交流できる深い意
味を持っていると思います。

この会の創立を振り返ると
た先駆者の方に今さらながら
深く、甚だ敬意と感謝の念を
はらうと同時に、本会が永く

めぶきの会の感想

継続して発展することを心か
ら願って止みません。私の心
の一端を述べさせていただきます。

長峰 宮澤正仁

この文は、2月21日(土)

に開催された第27回福
祉を考える集会で、民
生児童委員の宮澤由紀
子さんから発表してい
ただいたものです。今
集会は「みんなで考え
よう!! 介護する人、さ
れる人」というテーマ
で話し合われました。
生東地区は163軒ありま
すが、65歳以上の世帯・
1人暮らしの世帯がお
よそ半分を占めるそう
です。どのようにした
ら住みよい地域をつく
れるかということば、
どの集落でも、そして
どの時代でも人間の共
通のテーマです。このよう
な中で、「めぶきの会」の活動
は私たちが忘れかけている
“人と人とのつながり”とい
う大切な投げかけがされてい
るように思います。

平成20年度 公民館総括

今を考えると

未来を見据えて

社会部長 岩崎敏宏

本年度私達社会部では、年間テーマを「住みよい環境づくり」〜あいさつから始まる地域づくり〜と決め、平成16年より継続して活動しているあいさつ運動に一年間取り組んでまいりました。また、現在では本館三部、各地区館、社会を明るくする運動等、多くの方々のご理解、ご協力をいただき、徐々にですがこのあいさつ運動が町内に浸透されつつある事を実感しています。1月25日の公民館研究会では「最近子どもから進んであいさつをしてくれる事が多くなった。」とお話をいただきました。私達は、近年問題視されている、家庭内のコミュニケーション不足、また地域社会、世代間を超えた、人と人とのつながりの希薄化の問題を乗り越えるため、「大人からあいさつをしよう」をスローガンに今後も活動を継続していく所存です。

また、本年度は、公民館研究会にてこれも近年問題視されている、子どものインターネット、携帯電話利用に潜む危険性について話し合いを行いました。この研究会の基調講演では「大人が知らないインターネットや携帯電話の問題点」と題して、私達大人の学習の場である「成人講座」として講演を開催いたしました。この問題は、近年子どもが巻き込まれる犯罪の増加と、人と人とのつながりの変化に関する社会問題として、取り上げた訳ですが、講演を開催し、研究会で話し合われた結果、現在の情報化社会の中では取り組み方として、非常に難しい問題であると実感をいたしました。このため、私達社会部ではこの問題を地域全体として継続して取り組む必要があると感じており、来年度も何らかの形でこの問題に取り組んでいきたいと考えております。

この他にも文化面への取り組みとして、人形劇場や音楽祭の企



あいさつ運動

画運営を行いました。これらの行事は例年行われている行事ですが、親子での参加、また子どもからお年寄りまで幅広い世代の参加を頂き、家庭や地域への話題作りが出来たのではないかと思います。今後も幅広い世代に興味を持って頂けるよう、内容を企画して行きたいと考えています。

現在、未曾有の世界同時不況の中、私達の生活は先行きが非常に不透明な状況にあります。また、地方財政はさらなる厳しさが予想され、私達の生活も行政に任せただけでなく、自ら考え行動する事が求められる時代になっていくと思われまます。このような状況の中、私達公民館の役割は、地域の中で益々重要視され、私達社会部も今を考え未来を見据えて、明るい未来、社会作りを目指し、時代とニーズに合った活動を今後も行っていきたいと思っております。

多くの町民が 楽しめるスポーツを

体育部長 宮澤武彦

平成20年度の本館事業も皆様のご協力で無事終了することが出来ました。

ファミリー登山は今年度も上片桐地区館と共催で計画していましたが、雨天の為残念ながら中止となりました。他の行事は天候に恵まれ、多くの参加者に恵まれ、本当にありがとうございました。

2回のニュースポーツフェスティバルでは、「キンボール・ワンバウンドふらばーるバレエ・囲碁ボール等」行いました。今年度紹介した競技は他市町村では、リーグ戦や公民館行事で恒例になっている競技です。今後も多くの皆様に紹介・実践の場を提供し、運動不足解消のきっかけとなつて頂ければと考えています。



ワンバウンドふらばーるバレエ

トランポリン教室は今年も多くの皆様に参加頂きました。この行事は平成3年度から続いているようです。今後も一人でも多くの皆様に体験して頂きたいと思っております。

第24回駅伝大会は今年も多くのチームに参加頂き、盛大に行うことが出来ました。今年は選手の手の安全を考え、送迎車両の規制を行いました。皆様のご協力で無事行うことが出来ました。至らぬ点はしっかりと反省し、来年度は更に「安全・充実」した大会にしていきたいと思っております。

「見たよ」の声 聞きたくて

編集部長 光澤正之

今年度も館報をお読みいただきありがとうございます。

よりわかりやすく正確に公民館活動や住民の皆さんの活動などを発信していきたいと毎号作業してきました。また、より多くの皆さんに読んでいただきたいので、おもしろい館報にしたいと思ひ取り組んでいます。しかしながら編集部員も住民であり、自分の仕事や家庭がある中で取材や執筆、編集作業など行っているため、大きく内容を変えたり、取材に長時間を割いたりということとは難しく、「思い」と「現実」とのギャップがあることは否めません。それでも出来る範囲で出来ることはしたいと、それぞれ部員が案を出し固定概念にとらわれない方法も模索してまいります。

町民の皆さんの協力なしでは出来ない館報ですが、私たちがさらなる努力をしていきたいと思ひます。

上片桐

一年間の活動を振り返って

主事 牛久保 守

上片桐地区公民館の平成20年度における活動は、公民館全体の事業として町内一斉事業の花いっぱい運動をかかわりに、北小学校におけるあいさつ運動、町民運動会を開催しました。また、地区公民館独自の事業では、社会部で6月から2月にかけて随時開催した絵手紙講座では、11月に開催した文化展で作品を展示していただき、その成果を発表していただいたり、地域の歴史を知る歴史探訪の実施や、学校や地域のサークルの作品展示や出演をいただいた



7月に開催した運営研究会での講演会のようす（大島）

文化展の開催を行いました。

また、体育部では夏季スポーツ大会として輪投げや、2月には冬期スポーツ大会として恒例の綱引き大会を開催しましたが、8月に本館と共催で実施する予定でしたファミリア登山は天候のため中止となりました。

このほか、商工会や商業会のご協力をいただいたフェスタぎおんなど数多くの事業を実施してきましたが、いずれの事業も地区の皆さんの大勢の参加をいただきました。

7月に開催した「フェスタぎおん」子どもからお年寄りまで多くが参加し、演芸や花火打ち上げとプログラムも充実（上片桐）



生田

充実の一年間

主事 松下 聡

生田地区協議会の年間行事は、10月の町民運動会と2月の芸能文化祭の2つですが、今年は天候に恵まれ両行事とも実行できました。

生田地区協議会は、福与・部奈・生東の3つの地区公民館の共同体ですが、それぞれ地区公民館ごとに行事があり、それを実行しながら地区協議会の行事もというと、役員の中

2月に開催した芸能文化祭のようす。公民館長や区長らが戦国武将になって登場。
写真左から
豊臣秀吉、織田信長、
徳川家康、毛利元就（生田）



平成20年度地区協議会総括

大島 大成功の運動会 —大島地区協議会 活動報告—

主事 渡辺 克志

大島地区協議会では、2つの大きな事業の中のひとつ、運営研究会を7月に開催しました。講演会では今年度、中央公民館の施設の中に開設された教育支援室におられる生徒指導専門員の上沼昭平先生に『心に「確かなふるさと」を』という演題で講演をしていただき

ました。

また、10月13日の体育の日には地区協議会最大のイベントである、町民運動会が行われました。昨年はあいにくの天候のため中止となってしまうた分、本年度はぜひ成功させようと役員一同、事前に何度も話し合いや打ち合わせ、出労を繰り返して行い頑張つてまいりました。当日は、おかげさまで、すばらしい晴天に恵まれ、多くの町民の皆さんにご参加していただき、運動会がたいへ

ん盛り上がった事をとてもうれしく思います。

毎年、運動会についての会議の際、地区や自治会の役員さんから出る意見には「参加者を集めるのが大変である」という話がよく出ます。確かにそれは私も感じてはいますが、町民が一同に会して参加する事業はこの運動会しかないと思います。閉会式の後、参加された皆さんが笑顔でお帰りになつて行くのを見て、あらためてそう感じた次第です。

中には負担と思う方がいると思います。『行事を隔年で行なったら。』という意見がありました。『それは実行しない方向で進めていきたいと思っています。』

今年度で2年目になりましたが、行事の度に出会い・感動・よろこびがありました。最後にになりましたが、活動にご協力いただきました役員の方々と、それぞれの立場で支援してくださった皆様にご挨拶させていただきます。

まつかわ大学 第Ⅳ講座

頭イキイキ

血液サラサラの食事法

講師 食文化史研究者

永山久夫氏



講師の永山久夫氏

食文化研究所、総合長寿食研究所長である永山久夫さん。古代から明治時代までの食事復元研究家の第1人者で時代ドラマの食膳の考証なども行っています。また執筆・テレビ・ラジオと活躍されている方で今回「健康」がテーマだった事があり大勢の受講者が集まり、楽しい講演になりました。

「日本人は死に急いでいる。」日本人は「うつ」の人が多いと衝撃的な話から始まりました。人間の頭の中にはセロトニンという物質があり、幸せホルモンと言われるそうです。セロトニンが少なくなると、性

格が暗くなるそうです。セロトニンを増やすには、朝日夕日をあびると体内時計が正常化されて増えるそうです。

次に「お茶」を飲むと良い事を教わりました。お茶にはカテキンが入っており、脳の酸化を防いでくれるそうで、70℃以上で飲むとより多く取れるそうです。先生はお茶に對してこだわりを持っておられました。

他にも長生きに良い食材として、大豆、大豆製品、(特に凍み豆腐)、たまご、海藻類、魚と食べると良いそうです。

また、食だけでなく、「体」「心」で長生きすると言っていました。現在長寿の地区は、都市部だそうです。都市という所は、車を使わないので歩く、デパートや美術館があつて情報が多くある、危険が多いので頭を



使うそうです。また現代は清潔すぎて抵抗力が少なくなつていと危惧されていました。日本の子供は親が干渉し過ぎるそうで、雑菌の中で育てることも大切だと言っておられました。

そして明るく笑う事が大切と言ふ事で、受講者の笑いを誘う楽しい講演でした。

長生きの秘訣は、
長生きは粗食、
正直、
日湯(お風呂)
だから(緊張するな)
ときおり下風
(上風は、くしゃみ・せき)
あそばれかし

第4回高齢者講座 「楽しん愛能」

老人大学26期生
劇団
「おとめ座」

2月26日(木)に町民体育館トレーニンングルームで第4回高齢者講座が開催されました。内容は老人大学26期生で結成された劇団「おとめ座」による演芸公演で、およそ80人の受講者がつどい、公演を楽しみました。

劇団「おとめ座」の公演は、演目を最初に教えないようにして、始まるまで何が出てくるかわからないびっくり箱のような公演で、今回は会場全体での信濃の国の合唱から始まり、マジックショー、舞踊、歌謡ショー、南京玉すだれ、認知症についての寸劇と続きました。

寸劇は「これが認知症の始めかな」と題した新作で、ど



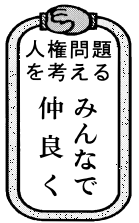
こにでもある家庭をとおして認知症の初期症状を描き出した劇で、コミカルな演技に笑いを誘われながらも、自分の家族は大丈夫かな?と考えさせられる劇でした。

その後も皿まわしや、舞踊、ハーモニカの演奏にあわせて会場全体で歌ったりとバラエティに富んだ18演目を演じられました。



「認知症」をテーマにした寸劇

受講者の方からの手拍子や笑いが絶えない楽しい講座となりました。



人権標語 松川中学校

1 年人権教育学習のまとめ

1 組

大切な尊い命一つだけ

橋本 裕里

「やめようよ」その一言が思いやり

松下 祐美

見て見ぬふりはいじめだよ

加藤 啓

2 組

優しい笑顔は、あなたの強い心で満開に咲く

知久 由奈

見てみよう自分の回りの行動を

田中 優

頑張って言ってみようよ「いやだよ」と

辻村夏奈子

3 組

いじめれば心は共に傷んでく

桑原 透

一言が心の中をつぶしてく

福澤新太郎

止められる勇気が必ずあるはずだ

矢島 遼

4 組

向き合おうあなたの近くのそのいじめ

杉山 美貴

そのいじめ、目を背ければ暗い明日

宮澤 佑梨

考えて、あなたの行動あなたの言葉

宮澤 優希

5 組

いじめてる人が一番低いレベル

久保田直輝

いじめはだめ、みんなで作ろう明るい毎日

木下美留樹

わたし達同じ人間平等だ

熊谷 研人

2月14日(土)上新井コミュニティセンターにて上新井家庭教育講座が開かれた。

講師は資料館の酒井先生。

まず大島と言われる由来について。天竜川に所々、突出している地面の部分有ってその中でも特に大きな部分が島のようにだったので大島と言われるようになったのでは?と話された。

上新井家庭教育講座 「歴史から学ぶ上新井地区の文化遺産」

その大島の中心には中世前期が馬坂、宮本あたり。中世末期は大島城一体の飯田の殿様の命によって上がった古町の人々が伊那街沿いにくった大島宿。近代は伊那電の大島商店街へと移ってきたこと。交通の発達により中心地が移っていくのが良くわかる。



ヒゲでおなじみ酒井先生

新井は新しい井(水路)ができたからとする説、荒井は井が

よく荒れたとする説などよく分かっている。今後の課題だ。大島の新井村と島田村(今の松尾)にある新井村と同名なので上流の新井村を上新井としたのでは、とのお話もあった。地名では、1870年2月16日の新井の大火の後の宮坂神社の宮坂が使われたり、薬師堂が有ったために弥久司になったりと楽しく聞けた。私は子どもの頃に滝の沢に住んでいたので、懐かしい地名が次々と出て昔を思い出した。



熱心に耳を傾けます

前河原は河川地帯だったり子どもの頃よく遊んだ長光寺の前はずっと南の方まで沼だったり、馬坂は牧場の名残りだったりとお話しを聞きながらワクワクしてしまいメモを取るのを忘れてしまった。

松川町の文化財

(358) 埋蔵文化財 (256)

大島城(21)・城内の防御施設②

文化財シリーズ 教育委員会 酒井幸則

大島城の二の丸と本丸の間は自然が形作ったくぼ地に大掛かりな土木工事を加えて、大きな空堀が構えられています。実は、この空堀は地形の関係上、天竜川の対岸から見ると、堀の底まで丸見えになってしまします。つまり、敵に堀の深さまで知られてしまうことになり、本丸防御には極めて不利です。そこで考えられたのが、この堀底を隠す、遮蔽する方法です。二の丸から堀底へは公園通路が付けられています。一番低い位置へ下った時、右手を見てください。小さな山があります。今は大きな木が生え、何処かの氏神様が祀ってありますが、この小山は天竜川対岸から堀底が見えないように人工で盛り上げたものなのです。この山は堀底を隠すだけではありません。平時、堀底は通路としても使用されます。敵が攻めてきた時、正面口から攻めてくるとは限りません。側面から攻め、曲輪間を分断し、城内の連絡を絶つこともあります。この大きな空堀部分は敵の侵入口となる可能性があり、直接本丸が攻撃される恐れもあり、大島城の隠れた弱点でもあったのです。そのため堀を隠し、堀底の通路、即ち侵入口となり得る部分に人工的な遮蔽物を設けているのです。この部分には板塀や柵列を建て並び、警備も厳重であったものとみられます。今は堀底も相当に埋まっていますが、当時はもっと深く、よって人工の小山ももっと高かったはずですよ。反面、井戸のある空堀の北側は、直下を天竜川が裾を洗っているため(大蛇が淵)、この方面の防御は井戸を隠すくらいで、それほど厳重ではありません。



団体の部

優勝	白田 和足	9
第2位	南島 健	9
第3位	南島 健	21
第4位	岩村 和夫	19
第5位	竹村 明浩	18
第6位	新井 陽一	12
第7位	野牧 初彦	11

個人の部

氏名 的中数

2月11日、松川町弓道場に於いて、松川町公民館地区対抗第33回冬期弓道大会が行われました。
結果は次のとおりです。

松川町公民館地区対抗 第33回冬期弓道大会

春にさきがけて体をつくってこう



射詰賞

第5位	第4位	第3位	第2位
野牧 初彦 菅沼 隆 的中数合計 6 8	名子 的中数合計 9 2 2 5	伊藤 久人 大島源一郎 入野 実 的中数合計 17 3 14	竹村 明浩 的中数合計 27 9 10 6 4 20

弓道教室の開催について

近年、生涯スポーツとして弓道の愛好者が増加しています。また青少年健全育成という観点からも、「礼」に始まる武道が注目されています。

何歳からでも始められ、男女の区別もありません。また、かなり高齢になっても続けられます。ぜひこの機会に大勢の方にご参加いただきますよう、お知らせいたします。

松川町弓友会 会長 白田 和足

主 催：松川町弓友会

主 催：松川町公民館

対象者：松川町民、松川町在勤者、学生（中学生以上で保護者の同意書が必要）

日 時：毎週月曜日・金曜日（4月13日（月）より開催）

19：00～21：00

場 所：松川町弓道場（名子地区）

持ち物：胸にボタンのないシャツ（町に道具があります）

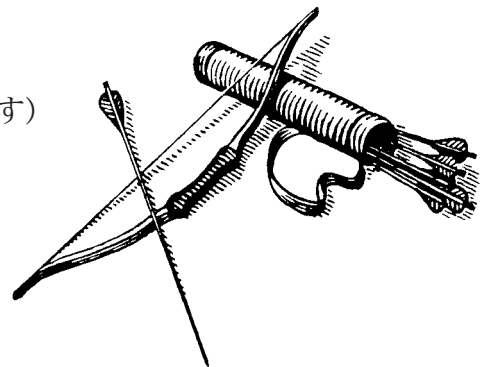
費 用：スポーツ保険加入代

申込先：松川町中央公民館

TEL 36-2622

FAX 36-6620

申込締切：4月10日（金）



なまなう

名子「元氣会」

「女衆のように男衆も集まって健康について考えてみよう」名子の仲間達が集まったのは



平成2年。以来18年。毎回、楽しく和気藹々とした雰囲気の中にも真剣に健康について語



らい合ってきた。

会の始めは北沢保健師さんとともに血圧測定から。前回の測定値と比較して今日の健康状態を把握。

今日は、蒲栄養士さん作のちらし寿司と具沢山のお吸い物を味わいつつ、以前行つた蓄尿検査の結果を見ながらお互いの血糖値、摂取タンパク質量、塩分量などの特徴を話し合う。運動を日々続け、筋肉を増やすと血液の中の糖をより多く消費し減らすことができる。…どんな運動がいいか「水泳はどうだろう？」来年度は、清流苑の温水プールにも活動の場を広がるかも？

上片桐地区公民館では、今年度の地区公民館や分館事業の反省と来年度へ向けての意見交換などを行う、公民館運営研究会を2月15日(日)に上片桐公民館

会部長のみなさんが集まり、地区全体の行事や分館の取り組みについてなど意見を出し合いました。上片桐地区全体では、花いっぱい運動や絵手

多く参加できるようにと工夫しています。しかしイベントによっては参加者集めに苦労するのは今やどの地区でも同じことで、上片桐地区でも同

すぽと

上片桐地区公民館運営研究会

編集部

光澤 正之

多量のこと

は地区公民館のほかにさらに細かく分かれた12の分館があり、それぞれ独立して活動を行っています。この運営研究会には各分館の分館長、主事、体育部長、社

紙教室、フェスタぎおん、スポーツ大会など年間を通して様々な事業を行っています。毎年運営研究会で出た意見などを参考にして住民が少しでも

で、毎年同じではなく試験的にでも活動方法を変えてみる必要があると意見が出されていました。

ぽけの詩

「ま」「つ」「か」「わ」を頭につけた松川町を紹介する詩

中央小4年4組

岡本七海

ま つかかなりんごがなって
つ きがきれいで
か わもきれい
わ つはつはとみんな笑顔です。

片桐虹歩

ま つかかわは
つ がるやふじやいろいろなりんご
か わにひやして
わ らいながら食べる

久保田航

ま つかかなりんごがいつぱい
つ きがきれい
か わがいつぱい
わ つはつはとみんなわらってる。

井澤 智

ま つかかなりんごがなっている
つ きがきれいに見えるんだ
か らすもいつぱいきてるし
わ らう顔もいつぱいだ

宮下 萌

ま つきがあるよ新井商店街
つ りができます天竜川
か わが流れる松川町
わ にはいません

俳句

針供養 矢沢さち子

ぼたん雪大きな口で受けてみる

冬星座一句浮んで忘れけり

恙なき身に日だまりの福寿草

春耕や鍬にたつぷり水浸す

裁ち板に母の艶あり針供養

短歌

伊那の谷 下平曜子

ほどほどと言うは清しきうす紅の金の成る木の花数まばら

切り取れば何処も絵となる伊那の谷

ビルに疲れし身が立ち直る

海豹あざらしのような髭を蓄えて

箱に残れるジャガ芋ひとつ

刃こぼれの鋏といえど供花切る

ひと役ありて紅き山茶花

青く澄むまなこの哀し外つ国へ

心臓移植求めて行く子



町の古民具 ④「斗ます」

視点

米などを一斗分量するのに使用した。



声

生田地区芸能文化祭

福与地区公民館社会部長

下澤 秀樹

この2月7・8日に、公民館

生田地区協議会主催の「生田地区芸能文化祭」が生田協同福祉施設と旧生東保育園体育館を会場に開催されました。

展示の部では、手芸、押し花、生花等が展示されました。又、町資料館の秘蔵品や駅伝で活躍している選手の写真パネルも展示され地域の方々の目を楽しませていました。

演芸の部では、「部奈子供

獅子」による「獅子舞」に始まり、踊り、ダンス、カラオケ、合唱、腹話術など数々の演目が披露され、「ゆうのつづみ・凜（りん）」の「和太鼓」のすばらしい演奏で終了しました。その後、各地区区

長が、信長、家康、秀吉、元就の兜姿で登場し会場内を沸かせました。

また、地域の特産品やおでん、豚汁も格安で販売されました。芸能祭に携わった皆さん楽しいひと時を過ごせたのではないかと思います。

出演していたいただいた皆さんをはじめ、スムーズに進行していたいただいた裏方さん、アナウンスのお姉さんに感謝を申し上げます。



部奈子供獅子

第11回ふるさと味祭り

片桐 喜代子

3月1日、ふるさと味まつりが公民館で行われました。今回は、朝食をテーマに、町の中学校、小学校4校と、保育園の栄養士さん達に協力を頂き、子供達に食べてほしい献

立を考えて展示してあり、子供を持つお母様が是非参加して、参考にされるといいなと思いました。地元産の野菜、果物類を使った加工品、漬物、調味料、日常の我が家の料理、おばあちゃんの伝承料理あり、実演会も、旬の野菜を使った簡単に出来るもの、応用の出来るメニューでありました。

町外から大鹿村の方が2名見に来て参加して下さいうれしく思いました。安心安全、健康で心豊かに暮らす為にも、もつと町内の若い方達に参加して頂きたいと思えます。

坂本美帆

草

「ことしは雪が降らんねえ」。行き会う人皆、まるで合い言葉のように発するひとこと。今シーズンの雪の少なさは驚くほど。通勤がラクなのはうれしいが、雪かきは1、2回したかどうか。

2月半ばには夏日を記録した地域もあった。ちょうどその日は所用で東京へ出かけていて、気温20度超えというのにダウンジャケットを着込む人あれば、Tシャツの人、素足でサンダルの人も…。本来ならば一年で一番寒いとされる時期なのに季節感まるでなし。

3月初め久しぶりに雪が降ったものの、地熱が高いせいで積もる間もなくあつという間に溶けてしまった。暖かく過こしやすすい冬もよいが、やはり冬は寒くないと…。なんて、寒ければ「寒い！」とグチをこぼすのだけれど。

そろそろ桜の便りが届くころ。ふだんの景色の中に「桜色」を見るようになるとワクワクする。町内をはじめ、飯田下伊那には印象深いものが数多くある。ことしもまた、記憶に残る桜を求めて出かけたい。

公民館報 「まつかわ」 第 545 号 平成21年3月15日

発行所 松川町公民館 責任者 塩澤三佳 編集人 公民館編集部 Tel 36-2622 e-mail: ckouminkan@matsukawa-town.jp 飯田市上郷黒田121 印刷所 龍共印刷(株)